

いつもの仙台主管支所



○月×日
採用2年目のスタッフが運行管理者一般講習の講師を務めました。180名の参加者を前に緊張しましたが、とても大きなやりがいを感じました。



▽月◇日
タクシードライバーの方に適性診断のカウンセリングを実施しました。カウンセリングを通して、目標を立ててもらえたときには、事故防止に少しでも寄与できたのではないかと感じ、嬉しく思います。



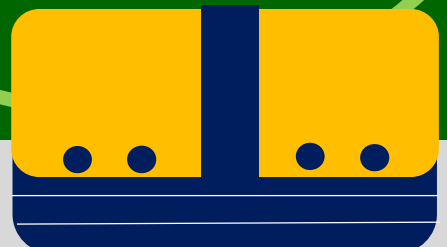
□月◎日
介護料受給者の方のご自宅へ訪問支援に伺いました。いつもお伺いする前は少し緊張するものの、顔を見てお話をさせていただくと逆にこちらが元気をいただきます。



～番外編～

☆月△日
山形県西川町役場に広報業務を学ぶ目的で3週間ほど留学しました。西川町長をはじめ職員の方に温かく迎えていただき、SNSを活用したPRやイベント手法などを学びました。

普段の工作中的様子を
写真とともに
ほんのちょっとだけご紹介



仙台主管支所へようこそ

～管内の若手メンバーをご紹介～

Q.現在の職務内容は？

A. 事業用自動車(トラック・バス・タクシー)のドライバー等に対する適性診断業務や、運行管理者等に対する指導講習業務、また、事故被害者等に対する支援業務を行っています。

Q.仕事をやっていてよかったことは？

A. 交通遺児等友の集いの参加者から御礼のお手紙をいただいた時に、仕事をやっていて良かったと思いました。

Q.就活生の皆さんにひとこと！

A. 大変な時期だと思いますが、頑張ってください！皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております！



Q.現在の職務内容は？

A. 秋田支所に所属しており、適性診断業務や講習業務、そして、事故で被害に遭われた方に対する経済的・精神的支援を行う被害者援護業務等、全ての業務に携わっています。また、これらナスバの取り組みを一般のドライバーさんにも知っていただくための広報活動にも取り組んでいます。

Q.ナスバの好きなところは？

A. 「被害者支援」と「事故防止」を一体的かつ専門的に携わることができることです。私自身、約20年前に父親を交通事故により亡くしています。

被害者遺族の一人として「事故を世の中から無くしたい」「被害に遭われた方の支えになりたい」という思いがあり、その思いを実現することのできる取り組みを一体的かつ専門的に行っており、ナスバの一員としてその取り組みに携われていることに誇りを感じます。

Q.現在の職務内容は？

A. 被害者援護業務です。

交通事故に遭われた方で重度後遺障害者となった方への介護料の支給やご自宅に訪問し介護に関する相談や情報提供を行っています。

Q.仕事をやっていてよかったことは？

A. 自分が一生懸命対応したことに対して、交通事故被害者の方から感謝の言葉をいただいたときにはやっていてよかったと思いました。

入構後産業カウンセラーの資格を取りますが、カウンセリングの手法は仕事以外でも多くの場面で役立ちますので、取得する環境が整っていることが良かったと思いました。

Q.就活生の皆さんへひとこと！

A. 就活ではなかなか思うように行かず、落ち込むことも多いと思います。

しかし、諦めなければ自分に合った職場に必ず出会えます。頑張ってください。



Q.現在の職務内容は？

A. 総務・経理に2年間携わっています。管内の支所の支出等を確認しています。

Q.プライベートでの楽しみは？

A. 配属された管内の各県を一度は旅行しようと計画中です。東北地方の日本酒を取り寄せて飲んでいます。

Q.就活生の皆さんにひとこと！

A. 多角的な視点から自動車事故被害防止に対して関わられる貴重な職だと思えます。休みも取りやすく働きやすい環境です。ぜひ一緒に自動車事故被害者ゼロを目指して。



Q.現在の職務内容は？

A. 被害者援護業務を主に、支所業務全般を担当しております。特に介護料受給者の方のお宅に訪問して、当機構の制度についての要望や日々の悩み事などを聞き取りながら、ナスバとして出来ることを日々考えながら業務をしています。たまに津軽弁の会話について行けず困ったりします・・・しかし、自分以上に介護用品や自治体の制度について聞くことが出来るため、日々勉強させていただいているという意識で業務を行っています。

Q.プライベートでの楽しみは？

A. 子供の成長を感じることが楽しみになっています。現在、単身赴任中のため自宅に帰ったり、テレビ電話で子供の顔を見たりしたときに癒やしを得ています。

Q.就活生の皆さんにひとこと！

A. ホームページに掲載されていること以外にも様々な業務があります。様々な業務に精通したいという方は是非一緒に働きませんか？

Q.現在の職務内容は？

A. 総務・経理を担当しているので、内部の管理に関する業務や、日々の収入・支出に関する業務をしています。

また、運行管理者等に対して運行管理に関する基礎的な知識や最新の法令等についてお話しする講習業務も担当しています。

Q.プライベートでの楽しみは？

A. 旅行が好きなので、まとまった休みがあると出かけることが多いです。旅行先で美味しいものを食べたり、きれいな景色を見ることが楽しみです。

Q.就活生の皆さんへひとこと！

A. ナスバの業務は、学生時代の研究や勉強したこと以外にも様々な経験を活かすことができと思っています。

人や社会の役に立つ仕事は多くありますが、被害者支援と交通事故防止を通して、安全・安心・快適な社会作りに貢献するナスバに興味を持っていただけたら幸いです。



Q. 現在の職務内容は？

A. 現在は仙台主管支所で指導講習業務、安全マネジメント業務を担当しています。

具体的な仕事内容としてはトラックやバス、タクシーなどの会社で運転手を管理する立場の方向けの講習で講義をしたりその準備をおこなっています。

Q. プライベートでの楽しみは？

A. 最近プールのサウナがプライベートの楽しみです。またラーメンが好きなので休日はよくラーメン屋を探したりしています。

Q. 仕事をやっていてよかったことは？

A. 現在 2 年目ではありますが以前よりも利用者の質問や問い合わせに対応できるようになったと感じることが多くなり、自分の知識が利用者の役に立ちそれが社会貢献になることにやりがいを感じます。



Q. 現在の職務内容は？

A. 総務経理を担当しており、主に適性診断や運行管理者指導講習で発生した収入金や、職員の出張などに伴う旅費の伝票作成、電話対応などを行っています。また、適性診断や運行管理者指導講習の受付業務なども行っています。

Q. ナスバの好きなところは？

A. トラックやタクシーなどの運転者の方や事故被害者の方など様々な“人”と関わり、安心・安全・快適な社会づくりに貢献できる場所、職員の方々が皆さん温かく、わからないことがある時や、困っている時に相談しやすい雰囲気があるところです。

Q. 就活生の皆さんにひとこと！

A. 自分自身に向き合い、将来に対して色々な考えや思いを抱きながら動かれている時期だと思います。そのような中で、少しでもナスバについて知っていただき、なにか皆さんの中でビビッとくるものを感じてもらえたら嬉しいです。

Q.現在の職務内容は？

A. 福島支所にて、主に適性診断や指導講習といった安全指導業務を担当しています。

Q.仕事をやっていてよかったことは？

A. 適性診断を受診される運転者と心が通じ合えたカウンセリングを行えた時は、本当にやりがいを感じます。受診直後は顔つきがこわばっていた運転者が、だんだんと気持ちを打ち明けてくださり、最終的には自分の運転のクセを補う事ができるような安全目標を立てて、今後の仕事に前向きに取り組んでいただけのきっかけを作れたときは役に立つ仕事が出来たという実感が持てます。

Q.就活生の皆さんへひとこと！

A. 自分に合った仕事とは何か、どのような生活を望むのか等、色々考える時期かと思います。多くの選択肢の中で、もしも自動車事故対策機構の業務に興味を持っていたら大変嬉しく思います。





Q. 現在の職務内容は？

A. 適性診断グループでドライバーの方々に向けてカウンセリングを行っています。その他には、運送事業者へドライバーのくせ等を診断する機器を導入しにいたり、機器の不具合対応等を行ったりしています。

Q.プライベートでの楽しみは？

A. 動物が好きなので、動物園や水族館に行くことが多いです。その他、気になるお店に行ってみたり、映画やライブを見に行くこともあります。支所では月に2回、月曜日休みがありますので、うまく調整すれば人が少ない日に遊ぶことができます！

Q. 仕事をやっていてよかったことは？

A. 仙台主管支所の診断グループにしていると、受診者だけでなく事業者や支所の方から診断業務に関する質問や対応の依頼を多くいただきます。それらの依頼を解決して感謝された時に、「対応して良かったな」と思います。

ナスバは人事交流の制度も整っており、国土交通省への出向もキャリアの選択肢の1つにあります。また、国土交通省の職員も出向でナスバへ来ており、人事交流により、新たな知識や経験、仕事における価値観を相互にアップデートしながら日々業務にあたっています。

ナスバから国土交通省へ行き仕事をしている職員及び、国土交通省からナスバに来て仕事をしている職員の声を紹介します。

～ナスバから国土交通省宮城運輸支局への出向～

Q. 現在の職務内容は？

A. 自動車運送事業者さん(トラック、バス、タクシー)に対して、過労運転の防止措置など事故の未然防止対策が行われているかや、法令に則り適切な事業体制を確保されているかを確認(監査)・指導しています。

Q. 出向してみたの感想は？

A. 運送事業者さんの事故の未然防止対策を「サポート」する立場から「監査」する立場に変わったため、最初は不安な気持ちがありましたが、宮城運輸支局のみなさんに温かく迎えていただき、安心して業務に努めることができます。

立場が変わり、これまでとは違う視点で物事を判断する機会が増えましたが「事故で苦しむ方を増やしたくない」という仕事の軸は変わりません。

出向により新しい知見を得られること、そのための人事交流制度が整っていることも、ナスバの強みの1つだと思います。

～国土交通省東北運輸局からナスバへの出向～

Q.現在の職務内容は？

A. 被害者援護業務を担当しています。介護料に関する問い合わせにお答えしたり、受給者の方のご自宅に訪問してお話を伺ったりしています。

Q.出向してみたの感想は？

A. 以前は、安全・安心な公共交通を維持するため、法律や制度を事業者や一般の皆さんに理解していただくためにどうすればいいのかを考えて仕事をしていました。現在、被害者援護業務に携わり、目の前にいらっしゃる受給者さんのために自分は何ができるのかを日々考え、お話を伺う中で教えていただくような気持ちで仕事をしています。

相手の顔を見て、気持ちに寄り添って対応することの大切さを、社会人4年目になった今、改めて噛みしめ仕事をしています。

